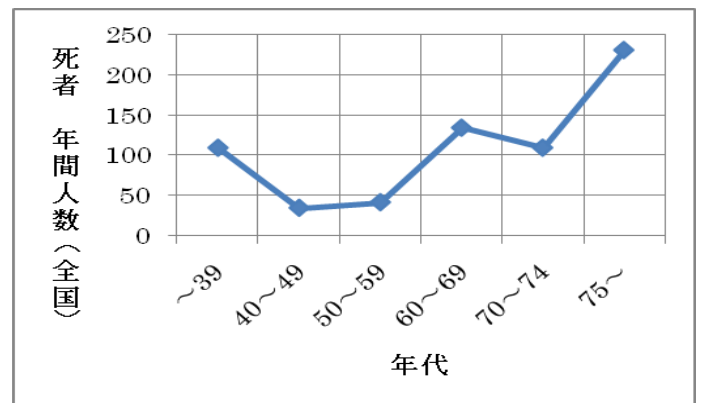
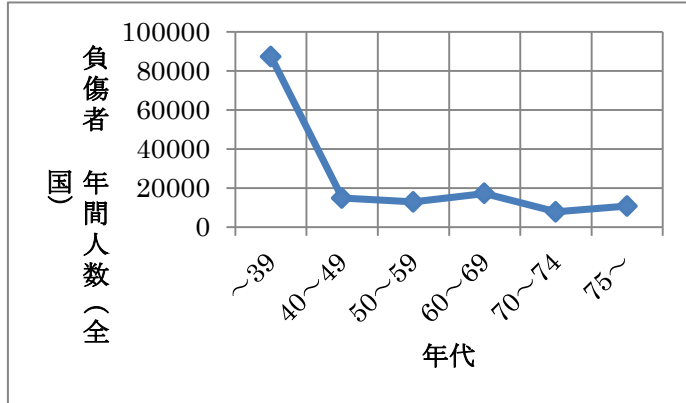


1. 事故の現状

- ◎交通事故全体の発生件数 → 減少
- 自転車事故の発生件数 → 減少
- 自転車事故の交通事故全体に占める割合 → 21%で減少しない
- ◎高齢者ほど事故を起こすと死に至るケースが多い



◎事故発生場所

- 歩行者との事故 → 横断歩道
- 自転車・クルマとの事故 → 交差点

2. 事故の原因となる自転車利用者の意識

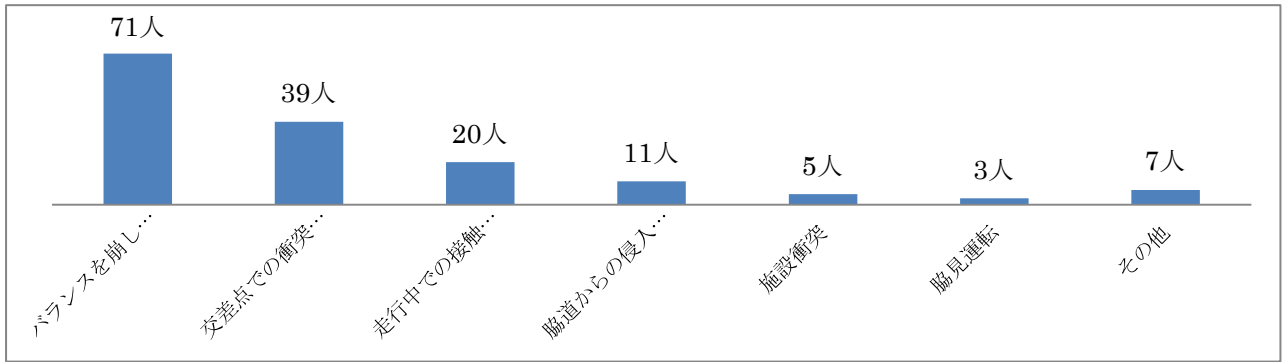
- ◎自転車を軽車両とは考えていない ⇒ 歩行者と同じ意識
- 歩道上を自由に走行 → 歩行者との事故
- 歩道のない道路を右側通行する → 自動車との事故
- ◎自転車を使うと速く目的地に到着できるから
- 信号で停止したくない → 信号無視 右側通行
- 一時停止しない → 出会い頭の事故

◎思い込み

- クルマ・自転車が来なければ安全
- 普段はクルマ・自転車が来ない所である
- ↓
- 一時停止しない 徐行しない
- 周囲の安全確認をしない
- ↓
- 交差点で事故を起こす

3. 高齢者の事故原因

- ◎バランスを崩して転倒 46%
- ハンドル操作を誤って転倒する事故が多い
- ◎交通ルール違反 45%



#### 4. 弥生地区の特徴

##### ◎幹線道路

- ☆クルマの通行量多い 歩道が広い
- ☆柳通りの歩道は狭い クルマの通行量は多くはない

##### ◎生活道路

- ☆道幅が狭く、曲線部分が多い
- ☆交差点が極めて多く、その大半は見通しが悪い
- ☆交差点での信号・ミラーが少ない

##### ◎商店街

- ☆道路への商品のはみ出しが多い
- ☆不法駐輪が多い

##### ◎その他

- ☆坂が多い

#### 5. 街中で見かけた交通ルール違反

- ◎二人乗り
- ◎右側通行
- ◎一時停止無視
- ◎信号無視

#### 6. 幹線道路ではどこを通行するか

- ◎方南通り
  - ◎中野本郷通り
  - ◎本郷通り
- } クルマの通行量が多い 歩道が広い

歩道を通行するのが安全 → 歩行者が優先  
 車道寄りを行く  
 自転車とすれ違う時は左寄り

- ◎柳通り ⇒ 歩道に歩行者がいないとき いるとき →

#### 7. こんな箇所ではどうすればよいか

##### ◎坂道を下るとき

(起こり得る事故)

- スピードの出し過ぎ
- ブレーキのかけ過ぎによる転倒



(対応)

※左ブレーキを主として使う

※通行量が少ないとき・歩行者がいるときは中央寄りを通行

◎歩行者・駐車の多い商店街

(起こり得る事故)

→ 歩行者との接触

→ 自転車との接触



川島商店街

(対応)

※降りて押しながら進む

※徐行する

◎駐車中の自動車を追い越すとき

(起こり得る事故)

→ 駐車中の自動車と接触

→ 後方から来る自動車・バイク・自転車との接触

(対応)

※一時停止して前方・後方確認する

※後方から車両が来るときはその通過を待つ



葛飾区にて

◎出会い頭の事故が起こりやすい交差点

曲がりくねっている

直線道路

T字路が連続



南台2丁目37

五差路交差点



南台3丁目28

狭い道路でのT字路



南台4丁目8

坂道のある十字路



弥生町1丁目44



弥生町3丁目15



弥生町4丁目18

## 停止線のあるT字路



弥生町5丁目3

### ◎ 出会い頭での事故が起こる原因

一時停止しない

徐行しない

左右を確認しない

(対応)

※止まれの標識があるとき → 必ず止まって左右確認

※カーブミラーがあるとき → 確認しながら徐行

※止まれの標識・カーブミラーがないとき

→ 左ブレーキに手を掛けながら徐行、横断中左右を確認

(左に曲がる時)

必ず止まって左右を確認

→ 歩行者・右側通行の自転車と衝突の危険

(右に曲がる時)

徐行するか止まって後方と左を確認

大きくカーブしながら曲がる

→ 右側に寄ってから曲がらない



左写真

右側の自転車

徐行も左右の確認もしない

左の自転車

左を確認 → 徐行

↓

事故が防げた

南台4丁目11

### ◎ 右側通行は絶対にしない

(起こり得る事故)

→ 歩行者を追い越すときの接触

→ 対抗する自転車・自動車との接触



右折する前に右側通行することが多い

柳通り

## 8. 接触事故を防ぐ方法

◎目線を5～10m先に置く

◎交差点での注意

☆止まる

☆スピードを落とす

☆左右の確認

☆ベルを鳴らす

## 9. 転倒を防ぐ方法

◎自転車の大きさ

☆26インチよりは24インチを使う

◎こぎ出すとき

☆ハンドルを水平にしてしっかり持つ

☆ペダルを真上の少し前に置いてしっかりと踏み込む

◎荷物の積み方

☆前のカゴに載せる

☆前のカゴの重さを後ろのカゴの重さより重くして載せる

☆後ろのカゴに積み過ぎない

◎路面確認

☆マンホールのふた

☆点字ブロック

☆5～10m先を見ながら運転する

## 10. 自転車を楽しむ

◎いつも乗っている自転車で良い

☆散歩気分でゆっくりと

☆いつもとは違う道を走る

☆コース・目的地 決める・決めない

☆無理しない

◎レンタサイクルを利用する

☆神宮外苑サイクリングコース ⇒ 無料

☆パレスサイクリングコース ⇒ 無料

☆駒沢オリンピック公園 ⇒ 1時間200円

☆代々木公園 ⇒ 1時間200円

☆昭和記念公園 ⇒ 3時間400円

## 11. 事故になったとき

◎被害者になってしまったとき

①小さな事故・相手が逃げたときでも警察官を呼び、調書を書いてもらう

②相手がいるときは住所・氏名を確認

③病院で診断を受け診断書を書いてもらう

- ④自動車安全運転センターに連絡し、交通事故証明書を発行してもらう
- ⑤保険会社または代理店に連絡する  
T S マーク → 購入した自転車屋さん
- ◎加害者になってしまったとき
  - ①負傷者の対応と安全確保  
負傷を確認 状況によっては救急車を呼ぶ
  - ②小さな事故のときでも警察官を呼び、調書を書いてもらう（後になってのトラブル防止）
  - ③相手の住所・氏名を確認 自分の住所・氏名を伝える
  - ④自動車安全運転センターに連絡し、交通事故証明書を発行してもらう
  - ⑤保険会社または代理店に連絡する  
T S マーク → 購入した自転車屋さん  
被害者に対して誠意を尽くす

## 1 2 . 事故になってしまったときのための保険

- ◎ T S マーク ( 1 0 0 0 円代 )
  - ☆ 傷害 1 0 万円 死亡 1 0 0 万円
  - ☆ 賠償 ~ 2 0 0 0 万円
  - ☆ 整備点検付き
- ◎ セブンイレブン 自転車向け保険 ( 4 7 6 0 円 他 )
  - ☆ 傷害 ~ 4 0 0 万円 死亡 4 0 0 万円
  - ☆ 賠償 ~ 1 億円
- ◎ a u 損保の自転車保険 ( 1 0 7 0 円 他 )
  - ☆ 傷害 なし 死亡 4 5 0 万円
  - ☆ 賠償 ~ 1 0 0 0 万円
- ◎ 全労済の交通災害共済 ( 1 0 5 0 円 他 )
  - ☆ 傷害 ~ 1 0 0 万円 死亡 1 0 0 万円
  - ☆ 賠償 なし

自転車は 転倒しやすい 車両 である  
 事故を防ぐためには 止まる勇気 が必要